



## プレスリリース

### エイズは 2030 年までに終結可能。UNAIDS が最新報告書でその道筋を概説

**ジュネーブ 2023.7.13**—UNAIDS は本日、新たな報告書（注：Global AIDS UPDATE 2023）を発表し、エイズ終結への明確な道筋を示しました。将来のパンデミックへの準備、そして持続可能な開発目標の達成にも貢献できるものです。報告書『The Path that Ends AIDS（エイズ終結への道）』（注：公衆衛生上の脅威としての）は、エイズ終結が政治的かつ財政的な選択にかかっていることを強調し、すでにその道をたどってきた国や指導者たちによる大きな成果をデータと成功事例研究で紹介しています。

ボツワナ、エスワティニ、ルワンダ、タンザニア、ジンバブエはすでに「95-95-95」ターゲットを達成しています。HIV 陽性者の 95%が自らの HIV 感染を知り、そのうちの 95%は命を救える抗レトロウイルス治療を受け、治療を続けている人の 95%が体内のウイルス量を低く抑えた状態を維持しているのです。さらにターゲットの達成に近づいている国も 16 カ国あります。このうち 8 カ国は、世界の HIV 陽性者全体の 65%を占めるサハラ以南のアフリカ地域の国です。

「エイズ終結は、現在の指導者にとって、極めて大きな遺産をもたらす機会です」と UNAIDS のウィニー・ビヤニマ事務局長は語っています。「世界で最も深刻なパンデミックを阻止した人として、将来の世代に記憶されることになるでしょう。何千万という人の命を救い、すべての人の健康を守れるのです。リーダーシップが何を残せるのかを示す機会なのです」

HIV 対策は強力な政治的リーダーシップに支えられて初めて成功します。報告書はこのことを強調しています。そのためには、データと科学とエビデンスに基づくこと、成果を阻む不平等に取り組むこと、コミュニティや市民社会組織が対策の中で重要な役割を果たせるようにすること、十分かつ持続可能な資金を確保することが必要です。

最も顕著な成果を上げているのは、積極的に財政投資を行った国や地域でした。東部および南部アフリカ地域では、2010年当時と比べ、新規 HIV 感染が 57%も減少しています。

子どものエイズ流行を終結させるための支援と投資により、2022年には世界全体で、妊娠中および授乳中の HIV 陽性女性の 82%が抗レトロウイルス治療を受けられるようになりました。2010年当時は 46%でした。この結果、2022年には子供の新規 HIV 感染者数が 2010年より 58%減少し、1980年代以来最も少なくなっています。

HIV 対策は、法律と政策の枠組みが人権を損なうことなく、逆に人権を実現し、まもれるようにすることで力を得てきました。2022、2023年に有害な法律を廃止した国がいくつかあります。アンティグア・バーブーダ、クック諸島、バルバドス、セントクリストファー・ネイビス、シンガポールでは同性間の性的関係を非犯罪化しました。

2010年には抗レトロウイルス治療を受けている人は世界全体で 770万人でした。それが 2022年には 2980万人とほぼ 4倍に増えています。

一方で、エイズ終結が自動的に実現するものではないことも報告書は指摘しています。2022年には平均すると世界で毎分 1人がエイズで亡くなっています。66万人の子供を含め、約 920万人の HIV 陽性者が依然として治療を受けられずにいるのです。

サハラ以南のアフリカでは、女性と女兒が依然として不当に大きな影響を受けています。世界全体でみると、2022年には毎週 4000人の若い女性と少女が HIV に感染しています。サハラ以南アフリカで HIV 感染率が 0.3%を超える地区のうち、思春期の少女と若い女性に焦点を当てた HIV 予防プログラムがある地区は 42%にとどまっています。

新規 HIV 感染のほぼ 4分の 1 (23%) はアジア・太平洋地域で発生し、感染の増加が警戒すべきレベルに達している国もあります。東欧・中央アジア地域 (2010年比 49%増)、中東・北アフリカ地域 (2010年比 61%増) でも新規感染者の急激な増加が続いています。社会から排除されがちな人たちやキーポピュレーションに向けた HIV 予防サービスの欠如や懲罰的法律と社会的差別による障壁がこうした傾向をもたらしています。

HIV 対策資金も 2022年には、国際資金、各国の国内資金ともに減少し、2013年レベルに戻ってしまいました。2022年の資金調達額は 208億ドルにとどまっています。2025年までに必要な年間 293億ドルには遠く及びません。

エイズ終結の機会はいま、目の前にあります。政治的意志を示し、最も重要なものに資金を配分することで HIV 対策への持続可能な投資を実現する必要があります。エビデンスに基づく HIV の予防と治療、保健医療システムの統合、差別のない法律、ジェンダーの平等、コミュニティ ネットワークへの支援と権限強化などへの投資です。

「私たちには希望があります。すべてが順調に進めば、その希望は実現するでしょうが、樂觀はできません。成功の機会を直視することで生まれる希望であり、その機会を活かすのは行動です」とビヤニマ事務局長は語っています。

「報告書で共有している事例と数字は、世界全体がすでにその道を進んでいるということではなく、私たちにはそうなれる可能性があるということを示しています。進むべき道ははっきりしているのです」

#### 2022 年推計

- 世界の HIV 陽性者数 3900 万人
- 抗レトロウイルス治療を受けている人 2980 万人
- 年間の HIV 新規感染者数 130 万人
- エイズ関連の死者数 63 万人

#### (参考 2022 年報告書の推計値との比較)

- HIV 陽性者数 60 万人増
- 抗レトロウイルス治療を受けている人 110 万人増
- 年間の新規感染者数 20 万人減
- エイズ関連の死者数 2 万人減